

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
共通基礎科目	2単位 教養科目	日本国憲法	大木裕一郎	1年次	秋

授業のキーワード	国民主権・基本的人権の尊重・平和主義
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	今日的な社会動向や出来事を参考に、日本国憲法の基本原理を解説します。その全体を理解し、国家の統治や地方自治の制度やあり方を考えながら、現代社会の課題を考察します。
履修のアドバイス・ 前提科目等	高校時代までに得た日本国憲法に関する予備知識を基礎とし、国の政治の仕組みや国民の基本的人権などを掘り下げて考察します。

### 授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第1講	憲法概論について	前文の解釈について。 今なぜ、憲法が論議されるのか、日本国憲法の成立を通じて考えます。	第9講	財産権の保障	私有財産の保護と制限、刑事司法と手続きについて考察します。
第2講	国民主権と象徴天皇について	国民主権と象徴天皇の意義を考えます。	第10講	国会	国会の地位、組織と活動、機能について解説します。
第3講	戦争の放棄（第9条）	第9条の内容とその解釈。 憲法改正論議のポイントについて考察します。	第11講	内閣	行政権と内閣、組織と機能、議院内閣制について解説します。
第4講	国民の権利及び義務（国民主義）	日本国憲法の三大原理のひとつ国民主義について考えます。 国民主権と民主主義の関係について。	第12講	裁判所	司法権の意味と範囲、「司法権の独立」とは何かを考察します。
第5講	基本的人権の考察	基本的人権の概要について。 基本的人権の新しい動向としてのプライバシー保護（個人情報保護）及び環境権等の考察を行います。	第13講	国の財政	財政のしくみ、一般会計と特別会計について解説し、予算作成と国会の議決について考えます。
第6講	精神的自由権	「思想・良心の自由」、「信仰の自由」、「学問の自由」、「表現の自由」など憲法で保障されている精神的自由権を考察します。 報道の自由とプライバシー権について。	第14講	地方自治	地方自治の本旨や条例について解説します。 住民自治とは何かの考察をします。
第7講	社会権	生存権、教育を受ける権利、教育の義務、社会福祉などについて現在の課題を考察します。	第15講	試験	
第8講	労働基本権	日本国憲法における労働者の権利・義務について考察します。	評価方法		定期試験 70% 出席状況 30%
備考 (関連する資格・試験等)		公務員採用試験、あるいは、法学検定試験委員会が主催する「法学検定試験」4級以上の出題対象科目です。また、数種の資格試験においては単位取得が必須条件になっています。			
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
小泉洋一他『憲法の基本』法律文化社 ISBN978-4-589-03097-9			適宜、授業時間内に指示します。		